

必ずお読みください



お使いになるうえでの**注意事項**

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいこと、参考にしていただきたいことを記載しています。添付のマニュアルと共に大切に保管してください。
なお、本書では、本パソコンがご購入時の設定であることを前提に説明しています。

お使いになるうえでの注意事項

ここでは、本パソコンに添付されているアプリケーションをお使いの際に、知っておいていただきたい注意事項を説明しています。お使いの機種によっては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「技術情報」にも注意事項が記載されていることがありますので、あわせてご覧ください。

また、各アプリケーションのマニュアルやヘルプもあわせてご覧ください。

本書の表記について

- **機種名について**

機種名を次のように表記しています。

機種名	本書での表記
FMV-BIBLO NE3/500LR ,NE3/500L , NE3/45LW ,NE3/45LR ,NE3/45L ,NE3/45LK ,NE3/45,NE3/43E	NEシリーズ、または NE3/500 L R , NE3/500L , NE3/45LW ,NE3/45LR ,NE3/45L, NE3/45LK ,NE3/45,NE3/43E
FMV-BIBLO MF3/500X,MF3/45	MF3/500X,MF3/45

- **製品の呼びかたについて**

製品名称を次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
FMV-BIBLO	BIBLO
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows95
Microsoft®WindowsNT®Workstation Operating System Version4.0	WindowsNT 4.0
Microsoft® Word2000 for Windows®	Word2000
Microsoft® Excel2000 for Windows®	Excel2000
Microsoft® Outlook®2000 for Windows®	Outlook2000
Microsoft® NetMeeting™ Version2.1	Microsoft NetMeeting
Microsoft® IME 2000	MS-IME2000
Microsoft® Internet Explorer 5.00.2614.3500	Internet Explorer
Microsoft® Outlook™ Express	Outlook Express
Microsoft® FrontPage Express™	FrontPage Express
はじめよう！ インターネット(@nifty) (無料体験付)	はじめよう！ インターネット(@nifty)
ゼンリン電子地図帳Z[zi] II for FUJITSU	ゼンリン電子地図帳Z II
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
SANRIO TINY PARK VOL.4	SANRIO TINY PARK4
筆ぐるめVersion7.0	筆ぐるめ
FM手帳	FM手帳

目次

第1章 必ずお読みください

● 全機種情報

A1.マニュアルの読み替えについて	1
A2.CD-ROMの取り扱いについて	1
A3.CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ	1
A4.アプリケーション起動時のエラーについて	1
A5.Windows98を終了するときの注意	1
A6.Windows98の強制終了について	2
A7.Windows98のCD-ROMについて	2
A8.「Windows」キーを押したときの動作について	2
A9.省電力機能について	2
A10.画面の解像度や色数の変更について	2
A11.画面の乱れについて	2
A12.スクリーンセーバーについて	3
A13.「アクセサリ」のペイントについて	3
A14.オブジェクトの挿入について	3
A15.ダイヤラをお使いの場合	3
A16.Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて	4
A17.Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合	4
A18.Office 2000 Personal について (Office 2000 Personal モデルのみ)	4
A19.Microsoft® Photo Editor について (Office 2000 Personal モデルのみ)	5
A20.VirusScan について	6
A21.アプリケーション「FAX 留守番電話」について	6
A22.「FM かんたんバックアップ/データ」について	6
A23.FrontPageExpress をお使いになりたい場合	6
A24.Direct X 対応のソフトをお使いになる場合	6
A25.ホームページが文字化けする場合	6
A26.モデムの通信中もしくは着信時の注意事項	7
A27.システムリソースについて	7

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1. キーボードの種類について.....	8
B2. 画面の表示色について.....	8
B3. 画面の解像度や色数の変更について.....	8
B4. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部やウィンドウの中に再描画されない部分が残ってしまった場合.....	8
B5. デスクトップの壁紙について.....	8
B6. タイトルバーのグラデーションについて.....	9
B7. タスクバーに起動していないアプリケーションのボタンが表示される場合.....	9
B8. 日本語入力システムについて.....	9
B9. 省電力機能について.....	9
B10. CD-ROM 読み込み中の省電力機能について.....	10
B11. LAN カード接続時の省電力機能について.....	10
B12. コントロールパネルについて.....	10
B13. 「コントロールパネル」の「マルチメディア」について.....	10
B14. 「コントロールパネル」の「日付と時刻」について.....	10
B15. 「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について.....	10
B16. 「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」について.....	11
B17. デフラグやスキャンディスクの実行について.....	11
B18. 「アクセサリ」の「Windows Media Player」について.....	11
B19. 「アクセサリ」の「ペイント」について.....	11
B20. 「アクセサリ」の「拡大鏡」について.....	11
B21. 「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について.....	11
B22. アプリケーションのヘルプについて.....	12
B23. アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて.....	12
B24. アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合.....	12
B25. 音の出るアプリケーションをお使いになる場合.....	12
B26. 印刷プレビューについて.....	12
B27. WAKE UP 機能について.....	12
B28. MPEG ファイルの再生について.....	12
B29. 録音について.....	12
B30. 録音する場合のオーディオ形式の属性について.....	13
B31. 音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ.....	13
B32. RealPlayer について.....	13
B33. インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について.....	13
B34. USB 機器の増設について.....	13
B35. 赤外線通信について.....	13
B36. 通信などでパソコンから電話をかける場合.....	14
B37. Microsoft Exchange および Microsoft Fax について.....	14
B38. Microsoft NetMeeting について.....	14
B39. Outlook Express について.....	14
B40. Outlook2000 について (Office 2000 Personal モデルのみ).....	15
B41. Lotus 1-2-3 2000 について (一太郎, OASYS モデルのみ).....	15
B42. Net-It Now! について (一太郎, OASYS モデルのみ).....	15
B43. 「Word2000&Excel2000 の虎の巻」、「一太郎 10&Lotus1-2-3 2000 の虎の巻」について.....	15
B44. OASYS について (OASYS モデルのみ).....	15
B45. OASYS (V7.0) の「ユーザ定義文字の変換」について (OASYS モデルのみ).....	15
B46. FM 手帳について.....	16
B47. FM 便利ツールについて.....	16
B48. FM キャプチャについて.....	16
B49. FM Advisor について.....	16
B50. ちくちく写真館について.....	16
B51. ちくちく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトについて.....	16
B52. ちくちくメール BOX について.....	17
B53. PMSet98 について.....	17
B54. ゲームをお使いになる場合.....	17

B55.文字が正しく表示されない場合	17
B56.ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合	17
B57.フォントがインストールできない場合	17
B58.ネットワークプロトコルが追加できない場合	17
B59.「FM 一発修正」について.....	17
B60.筆ぐるめについて.....	18
B61.筆ぐるめの住所録データを FM 手帳に読み込むときの注意	18
B62.タッチおじさんメールについて	18
B63.サンリオアクセサリーについて.....	19
B64.VirusScan について	19
B65.ポケベルコール機能について	19
B66.携帯電話を使って通信する場合	19
B67.マイクとスピーカーを使った通話機能について	19
B68.ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ	20
B69.FAX 留守番電話について.....	20
B70.FAX 留守番電話や FAX を使って自動受信を行う場合	20
B71.メモリダイアルリンクについて	21
B72.メモリダイアルリンクに携帯電話のデータをダウンロードした場合	21
B73.FAX 留守番電話とメモリダイアルリンクを同時にお使いになる場合	21
B74.インターネット(@nifty) 無料体験について	21
B75.AOL について	21
B76. FMV オンラインユーザ登録について	21
B77.複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合	22
B78.デバイスの削除/ドライバの更新について.....	22
B79.USB キーボードをお使いの方へ	22
B80.ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意	22
B81.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合.....	22
B82.ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバをお使いになる場合	24
B83.ノイズについて.....	25
B84.ゼンリン電子地図帳 ZII をインストールする場合	25
B85.ゼンリン電子地図帳 ZII について	25
B86.Visual Basic Editor について (Office 2000 Personal モデルのみ)	25
B87.GAMEPACK2001 について	26
B88.Media Player などによる動画および音声再生について	26
B89.Jet-Audio Player について.....	26

● 機種別情報

b1.画面の解像度や色数の変更について NE3/500LR,NE3/500L,NE3/45LW,NE3/45LR,NE3/45Lのみ	27
b2.DragonSpeech について DragonSpeech 対象品のみ	27
b3.ACPI モードでマウストライバの更新、削除を行った場合 NE シリーズ,MF3/500X,MF3/45のみ	27
b4.ディスプレイについて NE3/500LR,NE3/500L,NE3/45LW,NE3/45LR,NE3/45Lのみ	27
b5.MF3/500X,MF3/45 のサウンド機能について	27
b6.FDDユニットの着脱について MF3/500X,MF3/45のみ	27
b7.ドライバのアップデートについて NE3/500LR,NE3/500L,NE3/45LW,NE3/45LR,NE3/45Lのみ MF3/500X,MF3/45のみ	28 28
b8.パーティーグッズ:Facematch について NE3/500LR,NE3/500L,NE3/45LW,NE3/45LR,NE3/45Lのみ	28
b9.お父さんのための釣りについて NE3/45LK,NE3/45のみ	28
b10.PC Card スロットに ATA FLASH カードを2枚挿入したい場合 MF3/500X,MF3/45のみ	28
b11.携帯電話接続用 USB ケーブル/PHS 接続用 USB ケーブルをお使いの方へ 携帯電話接続用 USB ケーブルをお使いの場合(本体添付モデルの添付品もしくはオプション品) PHS 接続用 USB ケーブルをお使いの場合(オプション品)	29 29 29
b12.Easy CD Creator について NE3/500LR,NE3/45LRのみ	30
b13.NE3/45LK,NE3/45 のボリュームについて	31
b14.デバイスの使用について NE3/45LK,NE3/45のみ	31
b15.メモ리카ードをお使いの場合 NE3/43Eのみ	31
b16.ナンバーディスプレイ回線で FAX をお使いの場合 NE3/43Eのみ	31
b17.スピーカーホン機能をお使いの場合 NE3/43Eのみ	31
b18.モデムをお使いの場合 NE3/43Eのみ	31
b19.電源が切れない場合 NE3/43Eのみ	32
b20.内蔵 DVD-ROMドライブユニットをお使いの方へ MF3/500X,MF3/45のみ	32
b21.ワイヤレス通信セットをお使いの方へ NE3/45LW 標準添付品およびオプション品をお使いの方へ	32
b22.ワイヤレス通信セット用ドライバのインストールについて NE3/45LWのみ	33

第1章 必ずお読みください

●全機種情報

A1.マニュアルの読み替えについて

- 添付の各アプリケーションのマニュアルやヘルプ、補足説明などが記載されたファイル(README など)、画面に表示されるメッセージなどで、「Windows95」の記述があった場合は、「Windows98」と読み替えてください。
- 本パソコンでは、クリック操作を「シングルクリック」に設定しています。添付のマニュアル・README ファイル・ヘルプなどで「ダブルクリック」と記載されているものは、「クリック」に読み替えてください。ただし、一部の操作では「クリック」ではなく、「ダブルクリック」で操作する必要があります。

A2.CD-ROM の取り扱いについて

読み込み中は、CD-ROM を取り出さないでください。アプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。あわせて添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q CD-ROM を取り出したら青い画面になった」もご覧ください。

A3.CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ

操作中まれに、「不正な処理」などのメッセージが表示される場合があります。この場合は、メッセージを閉じ、Windows98 を再起動してから、CD-ROM をセットし直してお使いください。

A4.アプリケーション起動時のエラーについて

次のようなエラーが発生した場合は、そのまま使用せず Windows98 を再起動させてください。

- 多くのアプリケーションを同時に起動したとき、システムのメモリが不足して、「例外エラー」や「ページ違反」が発生する場合があります。
- アプリケーションを終了したあと、「スタート」ボタンをクリックし、スタートメニューからメニュー項目を選択しようとすると、ごくまれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A5.Windows98 を終了するときの注意

- アプリケーションのウィンドウを表示したまま Windows98 を終了または再起動すると、エラーメッセージが表示されるなど、Windows98 を正しく終了できない場合があります。また、Windows98 の終了または再起動中に、編集中のデータを保存するかどうかの確認メッセージが表示された場合、そこで保存するように指定しても正しく保存されない場合があります。
Windows98 を終了または再起動する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- アプリケーション(メモ帳やペイントなど)でファイルを新規に作成したあと Windows98 を終了するとき、作成したファイルが必要な場合は、必ずそのファイルを保存してから Windows98 を終了してください。
ファイルを保存せずに Windows98 を終了しようとしたときにも、保存先やファイル名を指定するウィンドウが表示されますが、このとき日本語入力システムは使用できません。
- Windows98 を正常に再起動または終了できなくなった場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- Windows98 を終了するとき、「このプログラムからの応答がありません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、表示されたエラーメッセージの「終了」をクリックすると、Windows98 は終了します。このあと、そのまま本パソコンをお使いいただいても問題はありません。
- 「ネットワークドライブの割り当て」機能を使って、ネットワーク上の共有フォルダにドライブ名を割り当てていると、Windows 98 を正常に終了または再起動できなくなる場合があります。その場合は Windows 98 を終了または再起動する前に、「ネットワークドライブの割り当て」を解除してください。詳細につきましては、インターネットにあるホームページ(FM-WORLD)をご覧ください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/support/qa/w98/w98onoff.html#win98off>
(FM-WORLD の Q&A 事例「Windows 98」の「Windows 98 終了」)

A6.Windows98の強制終了について

Windows98 やアプリケーションの動作中に、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押すと、アプリケーションなどが強制終了されます。このとき、作成中のデータが保存できなかったり、使用中のデータが壊れてしまったりする可能性があります。不必要に強制終了はしないでください。

A7.Windows98のCD-ROMについて

本製品には、Windows98 の CD-ROM は添付されていません。ドライバのインストール時などに、Windows98 の CD-ROM をセットする旨のメッセージが表示された場合は、次のフォルダを参照させてください。

C:\¥Windows¥Options¥Cabs

A8.「Windows」キーを押したときの動作について

- アプリケーションが起動しているときなどに、「Windows」キーを押してもスタートメニューが表示されない場合があります。この場合は、マウスやフラットポイントを使って「スタート」ボタンをクリックしてください。
- アプリケーションを終了した直後や、メッセージなどが表示されたウインドウを閉じた直後に「Windows」キーを押すと、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。

A9.省電力機能について

- **マルチメディア関連ファイル(MPEG,AVI ファイルなど)の再生について**
アプリケーションの動作が不安定になるため、次のようなときは省電力機能を働かせないでください。
 - Wave,MIDI などの音声,音楽関連ファイルを再生しているとき
 - AVI,MPEG,DATなどの動画ファイルを再生しているとき
 - 音楽 CD を再生しているとき
 - 音の出るアプリケーションをお使いのとき
 - 音声認識ソフトをお使いのとき
- **通信をする場合**
スピーカーフォンや FAX 留守番電話などの通信ソフトで通信中に、電源スイッチを押したりタイマー機能を使用するなどして、省電力機能を働かせないでください。通信が切断されたり、キーボードやマウスが使えなくなることがあります。ご購入時は、タイマーによる省電力機能が働いている設定になっています。設定を変更してお使いください。
- **フロッピーディスクアクセス中の省電力機能について**
フロッピーディスクアクセス中に省電力機能が働かないようにしてください。正常に動作が完了しない場合があります。
- **MS-DOS プロンプトについて**
MS-DOS プロンプトを起動したまま省電力機能を働かせた場合、キーボードやスイッチでは正常に復帰しないことがあります。この場合はマウスを動かすと正常に復帰します。

A10.画面の解像度や色数の変更について

画面の解像度や色数を変更する場合は、必ず起動中のアプリケーションや常駐しているプログラムを終了してから行ってください。また、変更後は必ず Windows98 を再起動してください。再起動せずにお使いになると、パソコンの動作が不安定になる場合があります。なお、解像度や色数の変更時の再起動については、第 2 章の「画面の解像度や色数の変更について」にも注意して頂きたいことが記載されています。あわせてご覧ください。

A11.画面の乱れについて

省電力機能から復帰するときなど、画面表示の開始時や表示モードが切り替わる時、一時的に画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

A12.スクリーンセーバーについて

- スクリーンセーバーを表示しているときに、画面にカーソル表示が残る場合があります。
- 「OpenGL スクリーンセーバー」について
「OpenGL スクリーンセーバー」は、ご購入時はインストールされていません。このスクリーンセーバーをお使いになる場合は、「画面のプロパティ」で設定する前に、次の手順に従ってインストールしてください。
なお、OpenGL スクリーンセーバーに設定した場合に、いくつかの問題が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
 3. 「ファイルの種類」の一覧から「アクセサリ」を選択し、「詳細」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウが表示されます。
 4. 「ファイルの種類」の一覧から「スクリーンセーバー」を選択し、「詳細」をクリックします。
「スクリーンセーバー」ウィンドウが表示されます。
 5. 「ファイルの種類」の一覧の「OpenGL スクリーンセーバー」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウに戻ります。
 6. 「OK」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウに戻ります。
 7. 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これでインストールは終了です。

このあと、「画面のプロパティ」から「OpenGL スクリーンセーバー」を設定します。スクリーンセーバーの設定方法については、画面マニュアル『パソコン情報ランド』の「解決！Q&A」をご覧ください。
- 省電力機能を設定しているときに、スクリーンセーバーが起動したあと、まれに省電力機能が働かない場合があります。この場合は、どちらかの設定を解除してください。
- 「3D 迷路」をお使いの方へ
「3D 迷路」を使用中に省電力機能から復帰しないことがあります。スクリーンセーバーに「3D 迷路」を選択した場合、「設定」で「全画面表示にする」のチェックマークを外してお使いください。

A13.「アクセサリ」のペイントについて

Word2000、一太郎 10 などで作成した文書に貼り付けられたオブジェクトを編集する場合には、呼び出されたペイントのパレットの色が正しく表示されません。オブジェクトの編集は、貼り付ける前に行ってください。

A14.オブジェクトの挿入について

ワープロソフトや表計算ソフトで、動画ファイルのようなサイズの大きなファイルをオブジェクトとして挿入すると、エラーメッセージが表示され、ワープロソフトなどが終了する場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されません。サイズの大きなファイルをオブジェクトとして挿入するときは、あらかじめ作成中のデータを保存しておくことをお勧めします。

A15.ダイヤラをお使いの場合

Windows98 の「アクセサリ」の「通信」の「ダイヤラ」では、スピーカーフォンはお使いになれません。電話機をお使いください。

A16.Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて

Direct 3D または Direct Draw に対応したゲームなどをインストールするとき、ゲームソフトなどに添付されている Direct 3D または Direct Draw (以降 Direct X と略記します) ドライバをインストールすると、Windows98 を正常に起動できない場合があります。

● インストール時の注意事項

Direct X に対応したゲームなどをインストールするとき、①「現在のディスプレイドライバを Direct X ドライバに置き換えますか？」のメッセージが表示される場合と、②メッセージは表示されずに無条件に Direct X ドライバがインストールされる場合があります。①の場合は、メッセージに対して「置き換えない」を選択してください。②の場合は、本パソコンにすでにインストールされている Direct X ドライバと、ゲームソフトなどに添付されている Direct X ドライバのバージョンが異なると、画面が真っ暗になります。その場合は、ディスプレイドライバをインストールし直してください。インストール方法については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「ディスプレイドライバをインストールする」をご覧ください。

A17.Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合

ご購入時、およびパソコンをふりだしに戻したときは、Microsoft Backup (「アクセサリ」の「バックアップ」) を使用してテープデバイスへはバックアップできません。Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合は、次の手順で Microsoft Backup を再インストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、「詳細」をクリックします。
「システムツール」ウィンドウが表示されます。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
6. 画面に表示されるメッセージに従って、操作を進めます。
7. Microsoft Backup の削除が完了したら、手順 1.～手順 3.と同じように操作をします。
8. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
9. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これで操作は終了です。

ただし、Microsoft Backup を再インストールすると、本体背面の平行コネクタにプラグアンドプレイ対応の機器 (プリンタなど) を接続した場合に、次のような問題が発生する場合があります。

- 接続した機器がまったく認識されない
- 本パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される
- 同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする
- 接続した機器の動作が不安定になる

上記のような問題が発生する場合、次の方法で回避できる場合があります。

- Windows98 を起動したあとに、平行コネクタに接続した機器の電源を入れる
- ドライバのインストールがうまくいかない場合は、「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」からインストールする

上記の手段は一例です。詳しくは、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせるか、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

A18.Office 2000 Personal について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Office アシスタント (ご購入時はイルカに設定されています) を表示して操作をしているときに、Office アシスタントの一部などの残像が残る場合があります。この場合は、残像が残ったウィンドウを次の手順で再表示すると、残像は消えます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。

2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

なお、ご購入時の状態では、次の操作をしたときに、残像が残る場合があることが確認されています。

- Excel2000 などの「印刷プレビュー」のウィンドウをスクロールしたとき
- Excel2000 などで、描画した図形を移動したとき
- Office アシスタントをドラッグして移動したとき

なお、この場合は、FM 便利ツールのマスコットや、サンリオアクセサリーの「アナログ時計」など、四角ではないウィンドウをドラッグして移動したときにも、残像が残る場合があります。

- Excel2000 をお使いの場合、次の状態のときはシート名を変更しないでください。
描画した図形や、貼り付けたオブジェクトなどを選択した状態(図形などの回りに□が表示されている状態)。この状態でシート名を変更すると、エラーメッセージが表示され、Excel2000 が終了してしまう場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されません。ご注意ください。
なお、このあと引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。
- Excel2000 または Word2000 をお使いのときに、「挿入」メニューの「図」から「クリップアート」を選択し、「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示している場合は、省電力機能を働かせないでください。「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示したまま省電力機能を働かせると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウで「閉じる」をクリックすると、省電力機能が働きます。
なお、省電力状態から復帰したあと、引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。
- Outlook2000 を初めて起動したときに、競合を解消するかどうかをたずねるメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- MS-IME2000 は、Windows98 標準の MS-IME98 を置き換える形でインストールされています。「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」からセットアップダイアログを起動しても、「すべて削除」が選択できずアンインストールできません。

A19.Microsoft® Photo Editor について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Microsoft® Photo Editor で、「効果」メニュー内の項目を実行したあとに「イメージ」メニューの「調整」を行うと、画像の一部分にしか調整が適用されない場合があります。この場合は、次の手順に従って、効果、調整の適用を行ってください。
 1. 「効果」メニューの項目(例: テクスチャ)を選びます。
次のようなメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。
「この効果を適用するには、イメージを 24 ビットの RGB カラーに変換する必要があります。変換しますか?」
 2. 選択した効果の適用を行います。
 3. 「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックし、ファイルを保存します。
 4. 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックし、ファイルを閉じます。
 5. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、手順 3. で保存したファイルを再度開きます。
 6. 「イメージ」メニューの「調整」を行います。
調整が画像全体に適用されます。
- Microsoft® Photo Editor のウィンドウの上で他のウィンドウを移動すると、移動したウィンドウの輪郭などが Microsoft® Photo Editor のウィンドウに残る場合があります。この場合は、Microsoft® Photo Editor のウィンドウを、次の手順で再表示すると、輪郭などは消えます。
 1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
 2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。
- Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの各機能をお使いのときに、表示されたウィンドウの「プレビュー」の個所に「メモリ不足です」と表示される場合があります。この場合は、次の方法で回避できる場合があります。
 - ハードディスクの空き領域を 1.33GB 以上にする。
ハードディスクの空き領域を増やす方法については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』をご覧ください。
 - 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「パフォーマンス」タブにある「グラフィックス」をクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」を「なし」に設定する。
この設定を変更したあと、本パソコンの再起動が必要です。設定を変更する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

- Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの「ノートペーパー」はお使いになれません。あらかじめご了承ください。
なお、下記のアドレス (URL) より修正モジュールをダウンロードすれば使用可能です。
<http://officeupdate.microsoft.com/japan/downloaddetails/2000/notepape.htm>

A20.VirusScan について

- エマージェンシーディスクの作成には、MS-DOS プロンプトで次のように入力し初期化したフロッピーディスクをお使いください。
`Format A: /S`
- ウィルスのスキャン中は、別のアプリケーションをお使いになるなど、他の操作を行わないでください。他の操作を行うと、まれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A21.アプリケーション「FAX 留守番電話」について

「FUJITSU FAX Print Driver」は、「FAX 留守番電話」をアンインストールするとお使いになれなくなります。

A22.「FM かんたんバックアップ／データ」について

- FMかんたんバックアップのバックアップや復元処理中に、タブの切り替えをしないでください。
- 複数のユーザを設定してお使いのときに、「FM かんたんバックアップ／データ」で「複数ユーザ登録時データ」を復元する場合は、いったんログオフし、ユーザ名の選択時に「キャンセル」をクリックしてログオンし直したあと行ってください。そのまま復元を行うと、「index をコピーできません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして復元処理を終了させたあと、前述のようにログオンし直して再度復元を行ってください。

A23.FrontPageExpress をお使いになりたい場合

本パソコンでは、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から FrontPage Express を追加インストールすることはできません。インターネットにある Microsoft のホームページよりダウンロードしてください。アドレス (URL) は次のとおりです。

<http://windowsupdate.microsoft.com/>

A24.Direct X 対応のソフトをお使いになる場合

本パソコンにインストールされているディスプレイドライバは Direct X6.1 対応であり、Direct X1、X2、X3、X5、X6 のランタイムはインストールすることができません。必ず Direct X6.1 のランタイムをお使いください。

A25.ホームページが文字化けする場合

ホームページを表示したとき、文字化け (本来の文字とは全く関係のない文字が表示されること) する場合があります。この場合は、次の手順で正しく表示される場合があります。

1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語 (自動選択)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語 (シフト JIS)」、または「日本語 (EUC)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」の「自動選択」にチェックマークがついていないことを確認します。
チェックマークがついている場合は、クリックしてチェックマークを外します。

A26.モデムの通信中もしくは着信時の注意事項

本パソコンの内蔵モデムに、分岐アダプタを使用してモデムと電話機の両方を接続されてご使用になられる場合、データ通信中は受話器を外さないようにしてください(データ通信中に電話機の手話器が外れると、回線に受話器からの音声が入り込むことにより、データが正しく伝送されなくなる場合があります)。また、本パソコンの内蔵モデムと電話機との同時使用は出来ません。なお、FAXや自動着信するモデムなどの種類によっては、本パソコンの内蔵モデムに接続すると誤動作を生ずる場合があります。ご了承ください。

A27.システムリソースについて

- アプリケーションを使用中または起動時に「リソース不足です」という旨のメッセージが表示され、操作を続行できなくなる場合があります。この場合はシステムリソースの残りを増やすと、解消できる場合があります。一時的にリソースの残りを増やすには、次の手順に従って、使用していないアプリケーションを終了させてください。
 1. 終了させたいアプリケーションがタスクトレイに表示されている事を確認します。
 2. タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックまたは左クリックします。
 3. 表示されたメニューの中から「終了」または「～を閉じる」という旨のメニューをクリックします。
※ 終了方法はアプリケーションにより異なります。詳しくは、添付のマニュアルや各アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。
- アプリケーションの追加やハードウェアの追加を行うと、リソース不足が常に出てしまうことがあります。このような環境の場合は、次の手順に従って、使用していないアプリケーションの自動起動を外してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせ、「システム情報」をクリックします。
 2. 「ツール」メニューの「システム設定ユーティリティ」をクリックします。
 3. 起動したシステム設定ユーティリティの「スタートアップ」タブをクリックします。
 4. 枠中に表示された一覧から、チェックのついている口をクリックし、チェックをはずします。

例：プレインストールされているアプリケーションの自動起動をやめる場合。

アプリケーション名	プログラム名	自動起動をやめた場合に使用できなくなる主な機能
ウイルススキャン	Vshwin32.EXE、McAfeeWebScanX AvconsoleEXE、VsStatEXE	自動のウイルス検索 (手動にてウイルス検索を行ってください)
Hatch inside	Hatchinside.exe	短縮番号でのインターネットアクセス
FM便利ツール	FM 便利ツール	ワンタッチボタン等の FM 便利ツールの機能
PMS98	PMS98	PMS98 の省電力機能
Real Player G2	RealTray	ソフトウェア更新情報やヘッドラインの自動チェック機能

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1. キーボードの種類について

本パソコンに添付されているキーボードは、「109 日本語キーボード」という種類です。しかし、「システムのプロパティ」ウィンドウでは「106 日本語キーボード」と表示されています。アプリケーションをインストールしたときに、キーボードの種類を選択する場合がありますが、この場合は「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」を選んでください。

B2. 画面の表示色について

画面の表示色を変更すると(256色に変更したときは特に)、次のようになる場合があります。

- スクリーンセーバーから復帰したときに、背景の色が反転して表示される
- アプリケーションによっては、色が正しく表示されない
- アプリケーションによっては、ウィンドウを切り替えたときに異常な色で表示される

アプリケーションのマニュアルで特に色数を変更する指示がない場合は、ご購入時の色数でお使いください(ご購入時の色数については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください)。別途市販のアプリケーションをご購入したい場合は、各アプリケーションに記載されている動作環境をご確認のうえ、ご購入ください。

B3. 画面の解像度や色数の変更について

- 画面の色数および解像度を変更したとき、デスクトップ上の FMV サービスチャンネルなどの位置がずれる場合や、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出す場合があります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、色数および解像度を元の状態に戻してください。
- 「画面のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「画面」をクリックすると表示されます)で解像度や色数を変更したとき、Windows98の再起動が必要な場合は、「互換性の警告」ウィンドウで「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選択し、「スタート」ボタンの「Windowsの終了」から再起動することをお勧めします。「互換性の警告」ウィンドウから Windows98 を再起動したとき、まれにシステムが停止する場合があります。この場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。
- 解像度を変更した直後に、日本語入力システムのツールバーを移動すると、移動する前の位置にツールバーが表示されたままになる場合があります。この場合は、デスクトップの何も表示されていないところ(アイコンやウィンドウなどが表示されていないところ)をクリックしてください。元の位置のツールバーが消えます。

B4. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部やウィンドウの中に再描画されない部分が残ってしまった場合

アプリケーションをお使いになっているときに、アイコン表示やウィンドウの一部などが画面に残ってしまう場合があります。また、アプリケーションのウィンドウ内で、再描画されない部分がありゴミが残っているように見える場合があります。この場合は、次のいずれかの手順で、ウィンドウの再表示を行ってみてください。

その1

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

その2

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B5. デスクトップの壁紙について

- アクティブデスクトップでは、画像データをデスクトップの壁紙にする機能(「らくらく写真館」など)が、正しくお使いになれない場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「Web」タブの「Active Desktop を Web ページとして表示」のチェックマークを外してください。
- 拡張子が「.htm」のファイルを壁紙にしたとき、ファイルによっては正しく表示や操作ができない場合があります(フレーム表示を設定した.htm ファイルを壁紙に設定した場合など)。

B6.タイトルバーのグラデーションについて

画面の設定後、再起動を行わないと、タイトルバーのグラデーション表示が単色になる場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「デザイン」タブにある「アクティブタイトルバー」の色の設定を、いったん他の色に設定し、そのあと元の色に設定し直してください。

B7.タスクバーに起動していないアプリケーションのボタンが表示される場合

- スクリーンセーバーから復帰後「Screen Saver」や名前のないボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。
- まれに「msime98mode」という名称のボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。なお、Windows98 を再起動すると、このボタンは消えます。
- MF3/500X, MF3/45 のみ
スクリーンセーバーから復帰したとき、まれに「Virtual CD」という名称のボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。なお、Windows98 を再起動すると、このボタンは消えます。

B8.日本語入力システムについて

MS-DOS プロンプトを起動して日本語入力システムをオンにしたあと、「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押してアクティブウィンドウを切り替えたときに、MS-DOS プロンプトで日本語が入力できなくなる場合があります。この場合は、MS-DOS プロンプトを起動し直してください。

B9.省電力機能について

- **電源の管理について**
動作環境によっては、電源制御が設定時間どおりに動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- **CRT ディスプレイをお使いの方へ**
省電力機能から復帰するとき、一瞬アイコンが大きく表示されてすぐ元に戻る場合がありますが、故障ではありません。また、省電力機能から正常に復帰しない場合は、電源スイッチを押し、いったん省電力機能を働かせてから、再度電源スイッチを押して復帰してください。
- **LAN カードをお使いになる場合**
LAN カードをお使いになる場合は、パワーマネジメントの設定を無効にしてお使いください。
- 省電力機能が働いている状態で、電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。

「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。

今後、待機状態にならないようにしますか？

<はい> <いいえ>」

このメッセージが表示された場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。

「はい」をクリックすると、以降省電力機能をお使いになれません。

なお、上記のメッセージで「はい」をクリックしてしまった場合は、次の手順で再設定すると、省電力機能を再びお使いになることができます。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「接続別に表示」をクリックします。
3. 「アドバンスド パワー マネジメント サポート」をクリックし、「削除」をクリックします。
4. 「デバイス削除の確認」のメッセージで「OK」をクリックします。
5. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「いいえ」をクリックします。
6. 「システムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。
7. 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をクリックします。
8. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウで画面の指示に従って「次へ」をクリックします。ウィンドウの表示が変わるので、さらに「次へ」をクリックします。
※「インストールするデバイスは一覧にありますか？」のメッセージが表示された場合は、「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」をクリックします。
9. 「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」のメッセージで「はい」をクリックし、画面の指示に従って「次へ」をクリックします。ウィンドウの表示が変わるので、さらに「次へ」をクリックします。ハードウェアの自動検出が始まります。

10. ハードウェアの検出が終わったら、「完了」をクリックします。
11. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。これで操作は終了です。

B10.CD-ROM 読み込み中の省電力機能について

CD-ROM 読み込み中に省電力機能が働くと、復帰したときエラーメッセージが表示された青い画面になる場合があります。この場合は、「Enter」キーを押してください。元の画面に戻れます。

B11.LAN カード接続時の省電力機能について

本パソコンでは、TCP/IPまたはIPXのプロトコルを設定の場合、ネットワーク環境において省電力機能を使用することができます。

ただし次の設定において省電力機能を使用すると、復帰後に正常に通信ができなくなったり、不具合が発生する場合があります。これらの設定では省電力機能を使用しないでください。

- ネットワーク環境で通信中、またはネットワーク上の他のパソコンのファイルを使用中に手動（電源スイッチの押下や、スタートメニューからのスタンバイ選択）により省電力モードへ移行する
- 省電力機能に対応していない通信アプリケーションソフトを使用する
（事前にご使用のアプリケーションソフトが省電力機能に対応しているかどうかご確認ください）
- 省電力モードへ移行したときに、次のメッセージが表示され、「はい」を選択した場合
<ポップアップメッセージ>

【共有】

XX個のファイルが、このコンピュータに接続しているユーザによって開かれています。
コンピュータを停止するとファイルは強制的に閉じられ、ファイルを使っていたユーザはデータを失う
可能性があります。
続けますか？

B12.コントロールパネルについて

「コントロールパネル」ウィンドウでアイコンを選択したときに、ウィンドウの左側（選択したアイコンの情報が表示される部分）が正しく表示されない場合があります。この場合は、次の手順でウィンドウを再表示すると正しく表示されます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B13.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について

「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます）の「MIDI」タブにある、「単一の機器」の設定によっては、正しく音が再生されない場合があります。この場合は、「単一の機器」の設定を変更してください。

B14.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「日付と時刻」をクリックすると表示されます）で日付や時刻を変更したあと、「適用」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。「キャンセル」または「閉じる」ボタンで閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

B15.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について

「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」で表示されるメモリ容量は、実装されているメモリ容量より、少なく表示される場合があります。これはメモリの一部をハードウェアが使用しているためであり、誤表示ではありません。実装されているメモリ容量の正しい値は、BIOS セットアップで確認することができます。BIOS セットアップについては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください。

B16.「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」について

「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」をクリックしたときに、「赤外線モニタ」ウィンドウが、「コントロールパネル」ウィンドウなど表示中のウィンドウのうしろに隠れて見えなくなる場合があります。この場合は、表示中のウィンドウを移動または最小化してください。

B17.デフラグやスキャンディスクの実行について

- Windows98 のスキャンディスクを実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。
「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」
この警告メッセージはアプリケーションや、Windows98 のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表わすものではありません。
「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、または「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。
- デフラグやスキャンディスクを実行中に、処理が止まるなど正しく動作しない場合は、起動しているアプリケーション(VirusScan などの常駐アプリケーションも含め)をすべて終了させてから、改めてデフラグやスキャンディスクを実行してみてください。

B18.「アクセサリ」の「Windows Media Player」について

「アクセサリ」の「Windows Media Player」で、8bit モノラルの WAVE ファイルを再生するとき、再生開始時に「プツ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

B19.「アクセサリ」の「ペイント」について

ペイントにビットマップを貼り付け、保存せずに終了すると、保存を確認するメッセージが表示されます。そのとき「はい」をクリックして保存すると、データの色数が 256 色のときにはビットマップの色が正常に保存されない場合があります。ペイントを終了するときは、「ファイル」メニューの「上書き保存」または「名前を付けて保存」をクリックし、ビットマップを保存してから終了してください。

B20.「アクセサリ」の「拡大鏡」について

「アクセサリ」の「ユーザー補助」の「拡大鏡」は、次の操作を行うときは終了してください。

- 起動時に画面の解像度が変わるアプリケーションをお使いになるとき
- Windows98 を終了するとき

拡大鏡を起動したまま上記の操作を行うと、拡大鏡や壁紙が正しく表示されなくなる場合があります。拡大鏡が正しく表示されないときは、拡大鏡を再起動してください。壁紙が正しく表示されないときは、Windows98 を再起動してください。

B21.「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について

- データ送受信中に通信に失敗する場合があります。この場合は、次のいずれかの方法でお使いください。
 - 他の通信ソフトウェアを使用する(例 NIFTY Manager)
 - 他の通信速度のアクセスポイントに変更する
 - 他の通信プロトコルを使用する(例 ZMODEM など)
- 次の状況では、ハイパーターミナルが誤動作する場合があります。この場合は、一度パソコンを再起動し、モデムケーブルが正しく接続されているか、設定内容が正しいかを確認してください。
 - モデムケーブルを接続しないで電話をかける
 - PBX回線にて、トーンを待ってからダイヤルする設定にして電話をかける

B22.アプリケーションのヘルプについて

アプリケーションのヘルプをお使いのときに、選択した項目の説明が表示されず、次のようになる場合があります。

- 「このトピックは存在しません。」、「○○○.hlp ファイルが見つかりません。」といったメッセージが表示される
- 何も説明が表示されない(反応がない)
- 意味不明の説明が表示される
など

このような場合でも、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのままお使いいただいてもかまいません。また、このような場合の詳しい対応については、各アプリケーションの開発メーカーにお問い合わせください(お問い合わせ先については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の巻末をご覧ください)。

B23.アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて

アプリケーションをインストールおよびアンインストールする際の注意は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「アプリケーションのインストール/削除」にも記載されています。あわせてご覧ください。

- Acrobat Reader4.0をアンインストールしたあと、再度インストールすると、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- ゼンリン電子地図帳ZⅡをインストールするときに、「読み取り専用ファイルの検出」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。

B24.アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合

アプリケーションのデータをメールで送信する機能(「ファイル」メニューの「送信」、「メールで送信」などの機能)をお使いになるときは、あらかじめ、Outlook Expressなどを起動して、通常使用するメールクライアントとして選択しておいてください。

選択していないときにこの機能をお使いになると、アプリケーションが反応しなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち次のアプリケーションで、前述のようになる場合があります。ご確認ください。

- Word2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- Excel 2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- 「アクセサリ」の「ペイント」

B25.音の出るアプリケーションをお使いになる場合

音の出るアプリケーション(ゲームなど)を複数同時にお使いになると、正しく音が出なくなる場合があります。音の出るアプリケーションは単独でお使いになることをお勧めします。

B26.印刷プレビューについて

アプリケーションに印刷プレビュー機能が用意されている場合、その機能での表示が、実際の印刷結果と多少異なる場合があります。この場合でも、印刷は正しく行われますのでご了承ください。

B27.WAKE UP 機能について

本パソコンの内蔵モデムで WAKE UP を行う場合、「マイクロソフト 仮想プライベート ネットワーク アダプタ」がインストールされていると WAKE UP 時にモデムが使用できません。この場合は、アダプタを削除してください。

B28.MPEG ファイルの再生について

MPEG ファイルを重ねて再生しないでください。画像が乱れる場合があります。

B29.録音について

サウンドレコーダーなどで録音するときの録音感度(ファイルに録音する音の大きさ)は、録音コントロールのウィンドウの音量つまみ

を上下することで調整できます。録音感度が低く感じられる場合には、調整してから録音してください。

調整方法は、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「音量を調節する」をご覧ください。

B30.録音する場合のオーディオ形式の属性について

オーディオ形式の属性として8ビットのものを選択して録音した場合に、微かな音(暗雑音)が混じる場合があります(サウンドレコーダでのラジオの音質や電話の音質がこれにあたります)。きれいな音で録音したい場合は、オーディオ形式として16ビット(CDの音質、等)を選択して録音してください。

B31.音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ

- CDの音楽やMIDIサウンドなどを、より良い音質でお聴きになりたい場合には、次の手順で音量コントロールのウィンドウ内の設定を変更してください。
音量コントロールのウィンドウ内のご使用になる項目以外のチェックマークをつけてください。
例) CDから音楽をお聴きになる場合の設定
 1. 画面右下のタスクバーにある「スピーカ(音量)」アイコンを右クリックし、「音量コントロールを開く」をクリックします。
 2. 音量コントロールのウィンドウの「全ミュート」のチェックマークが外れているのを確認し、チェックマークがついている場合は、チェックマークを外します。
 3. 「CDオーディオ」または「CD」以外のチェックマークをつけます。
 4. 音量コントロールのウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックします。なお、お聴きになったあとは、必ず初期選択状態に戻してください。
- 音量が小さいと感じる場合
音量が小さいと感じる場合は、音量ボリュームまたは「ボリュームコントロール」ウィンドウで音量を調節してください。それでも小さいと感じる場合は、ヘッドフォンを接続してご使用ください。

B32.RealPlayer について

本パソコンにインストールされている RealPlayer では、データによっては正しく再生できなかつたり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。RealPlayer は、最新版をダウンロードしてお使いになることをお勧めします。最新版などの情報は、次の手順で入手してください。

1. RealPlayer を起動し、メニューバーの「サイト」をクリックします。
2. 表示されたメニューの「RealNetwork Home Page」をクリックします。

B33.インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について

インターネット上で RealAudio ファイルおよび ShockWave ファイルを再生するとき、音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

B34.USB 機器の増設について

複数のUSB機器を増設して同時に使用した場合、USB機器の動作が不安定になる場合があります。この場合は、使用する機器だけをUSBポートに接続してお使いください。

B35.赤外線通信について

- タスクバーにある赤外線アイコンを右クリックして「赤外線通信を使用可能にする」を選択しても、使用可能な状態にはなりません。赤外線通信を使用する場合は、次の手順で行ってください。
 1. タスクバーにある赤外線通信のアイコンをクリックします。
「赤外線モニタ」ウィンドウが表示されます。
 2. 「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」にチェックマークをつけます。
すでにチェックマークがついている場合は、いったんチェックマークを外して、再度チェックマークをつけてください。
 3. 「OK」をクリックします。
- 省電力機能(Save To Disk 機能を含む)を働かせると、復帰後、赤外線通信できなくなる場合があります。この場合は、本パソコンを再起動してお使いください。

B36.通信などでパソコンから電話をかける場合

- お住まいの地域の局番が変更された場合は、ダイヤルのプロパティの設定を新しい市外局番に合わせて変更してください。
例:「0423-70-XXXX」から「042-370-XXXX」に変更された場合
変更方法は次のとおりです。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
- お住まいの市外局番と同じ市外局番の別地域に電話するときは、市外局番がダイヤルされないため電話がつながりません。この場合は、一時的にダイヤルのプロパティの市外局番の設定を、別の市外局番に設定してからお使いください。
設定方法は次のとおりです。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
例:042→044 など
現在お使いの市外局番とは違う市外局番にしてください。
使用後は、必ず元の市外局番に戻してください。

B37.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について

Windows95 で用意されていた Microsoft Exchange および Microsoft Fax は、Windows98 には用意されていません。あらかじめご了承ください。

B38.Microsoft NetMeeting について

- ご使用方法によっては「通話」-「ディレクトリ」-「通話先の検索」をから、Hotmail アカウントの取得と MSN Messenger2.0 のダウンロードを行う必要があります。あらかじめご了承ください。
- Microsoft NetMeetingをお使いの直後は、Microsoft NetMeeting内のマイク感度の設定が最大になっています。入力した音声が発音する場合は、Microsoft NetMeeting内のマイク感度の設定を下げてください。または、市販のヘッドホンあるいは外付マイクをご使用ください。

B39.Outlook Express について

- Outlook Expressを初めて起動したときに、Outlook Expressは通常使用するメールクライアントとして選択されていない旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
なお、Office 2000 Personal モデルをお使いの方は、前述のメッセージで「はい」をクリックしたあと、さらに「Microsoft Outlook を起動して、デフォルトのメールクライアントに指定してください。」というメッセージが表示される場合があります。この場合は、「OK」をクリックしてください。また、メールソフトとして Outlook Express を通常お使いになる場合は、このあと次の設定を確認してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「インターネットオプション」をクリックし、「プログラム」タブをクリックします。
 3. 「電子メール」の欄が「Outlook Express」になっているか確認します。
「Outlook Express」以外に設定されている場合は、「Outlook Express」に変更します。
 4. 「OK」をクリックし、「コントロールパネル」ウィンドウを閉じます。
- Outlook Express のプレビューウィンドウで、全角文字を含んだファイル名のファイルが添付されたメッセージを表示すると、意味不明の文字が表示される(文字化けする)場合があります。この場合は、文字化けするメッセージをダブルクリックし、メッセージ用のウィンドウに内容を表示すると、正しく表示されます。

B40.Outlook2000 について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

「挿入」メニューの「オブジェクト」を使って、動画ファイルや音声/音楽関連ファイルを貼り付けた場合に、貼り付けたファイルの再生や編集ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

B41.Lotus 1-2-3 2000 について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

「ファイル」メニューの「インターネット」の「Web からデータの読み込み」でデータを読み込んだ場合に、データによっては日本語が正しく表示されない場合があります。

B42.Net-It Now!について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

- **Net-It Now!とは**
1-2-3 2000 でワークブックやワークシートまたは範囲をjDOC形式という Web ブラウザで表示できる形式に変換するためのプログラムです。1-2-3 2000 上で、「インターネット」-「Webページ変換」メニューを使用して変換してください。
- **Net-It Now!のプリンタドライバについて**
1-2-3 2000 上でjDOC形式という Web ブラウザで表示できる形式に変換するには、Net-It Now!プリンタドライバを使用します。Net-It Now!プリンタドライバは、1-2-3 2000 をインストールすると、自動的にインストール及びセットアップされるため、特に設定する必要がありません。Net-It Now!がインストール/セットアップされている環境では、Windows の「プリンタ」ダイアログボックスに Net-It Now!のアイコンが登録されます。ただし、Net-It Now!は、1-2-3 2000 またはその他のスーパーオフィス 2000 製品以外のアプリケーションから使うことはできません。

B43.「Word2000&Excel2000 の虎の巻」、「一太郎 10&Lotus1-2-3 2000 の虎の巻」について

デモ画面を再生中に、マウスをクリックすると再生が中止される場合があります。この場合は、もう一度マウスをクリックすると再開されます。

B44.OASYS について

(OASYS モデルのみ)

- OASYS Image では、元の形式から異なる形式への変更はできません。あらかじめご了承ください。
- 長い名前のフォルダ (My Documents フォルダなど) に保存した、拡張子が「pcd」などのファイルを OASYS Image で開こうとすると、ファイルが正しくない旨のエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ファイルの保存先を変更してから開いてください。
- OASYS Image ではプレビューを有効にしたまま pcd ファイルを開くことができない場合があります。あらかじめご了承ください。エラーメッセージが表示された場合は「閉じる」をクリックしてください。pcd ファイルを開く場合は「開く」ウィンドウで「文字だけ」ボタンをクリックし、プレビューを無効にしてください。
- OASYS マニュアルをお使いになる場合は、OASYS の CD (データディスク) をセットしてから起動してください。CD-ROM をセットしなかった場合は CDView が起動します。
- 「デスクトップ」には、一太郎など他社の形式で文書を保存できません。

B45.OASYS(V7.0)の「ユーザ定義文字の変換」について

(OASYS モデルのみ)

OASYS V7.0 の「ユーザ定義文字の変換」は、OASYS V4.1 以前の漢字フォントエディタで作成されたユーザ定義文字(外字)を、OASYS V7.0 で利用できる Windows 外字に変換する機能です。ご購入時の状態ではご使用になれません。

B46.FM 手帳について

- FM 手帳をお使いのときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。
「[住所録データの新規作成/編集]ダイアログボックスが開けません。他のアプリケーションを終了させてください。」
この場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了し、パソコンの電源を一度切ってください。そのあと、パソコンを再度起動し、操作し直してください。
- 「FK シンボルゴシック」フォントについて
「FK シンボルゴシック」フォントは、ご購入時の状態ではお使いになれません。そのためフリーダイヤルのマーク等がご利用できません。お使いになる場合は、「C:¥Program files¥Pim¥fonts¥F5dyfksg.ttf」ファイルを「C:¥Windows¥Fonts¥」フォルダにコピーしてください。ただし、ファイルをコピーすると、「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で表示される文字が正しく表示されませんので、あらかじめご了承ください。
また、FM 手帳をフォントと共に再度インストールした場合も、「Visual Basic Editor」での表示が前述のようになります。この場合は、「C:¥Windows¥Fonts¥ F5dyfksg.ttf」ファイルを削除してください。

B47.FM 便利ツールについて

- CD-ROM を使ったアプリケーションの使用中に、CD ドライブの Eject ボタンを押さないでください (NE3/43E を除く NE シリーズにあるワンタッチボタンの Stop/Eject (停止/取り出し) ボタンも含まれます)。Eject ボタンを押すと CD-ROM が取り出されます。これによりアプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。
- 「ユーザ変更」にてユーザを変更しようとする場合、パスワードの入力を求められます。パスワードを忘れてしまった場合や、パスワードを設定していない場合には、SUPERWORD の9文字の英字を、パスワードとして入力してください。ユーザを変更することができます。
- FM 便利ツールの CD プレーヤーで、曲間に切れ目がない音楽 CD (「ノンストップ」の表記があるものなど) を再生すると、曲間で音飛びが発生することがあります。この場合は、次の手順で起動する CD プレーヤーを使用して再生してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「エンターテイメント」とマウスポインタを合わせ、「CD プレーヤー」をクリックします。

B48.FM キャプチャについて

- FM キャプチャでビデオを撮影中に、USB カメラをはずさないでください。エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。
- FJV Video Player (FJV 形式のビデオを見るためのプログラム) を送る前に、そのメールを受け取る人のパソコンに、DirectX 6.1 以上がインストール済みであることを確認してください (本パソコンは、DirectX 6.1 がインストールされています)。インストールされているかどうか分からない場合には、MPEG1 形式でビデオを送るようにしてください。

B49.FM Advisor について

- CPU 情報について
FM Advisor の「CPU 情報」の表示を行った際に、CPU 名、CPU クロックが正しく表示されない場合があります。本パソコンの詳しい仕様については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「仕様一覧」でご確認ください。

B50.らくらく写真館について

PhotoManager の「画像出力」メニューの「一括加工」をお使いのときに、「サーバー使用中」のメッセージが表示されますが、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

B51.らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトについて

らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトを使用後に、プリンタから印刷ができなくなる場合があります。その場合はいったんプリンタドライバを削除し、再度インストールすることで正常に印刷することができます。プリンタドライバの削除・インストールの方法は、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

B52.らくらくメール BOX について

- らくらくメール BOX で半角英字を入力すると、文字の周りが帯状に光り、正しく表示されていないように見える場合があります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。
- 「インターネットに接続できません。Windows の「コントロールパネル」の「ネットワーク」でネットワークの接続を確認してください。」というメッセージが表示されメールの送受信ができない場合は、ダイヤルアップのパスワードが保存されていない可能性があります。この場合は、添付マニュアル『使いこなす本 インターネット編』の「インターネットの始め方」を参照に、パスワードを保存してください。
- 文字数の多いメールを受信するときや表示するとき、他のメールソフトより若干時間がかかります。ご使用になるうえで、まったく問題ありません。そのままお使いください。
- 回線接続中にらくらくメール BOX を終了すると、回線が切断されません。この場合は、タスクバーのアイコンから回線を切断してください。詳しくは添付マニュアル『使いこなす本インターネット編』の「インターネットの終わり方」を参照ください。

B53.PMSet98 について

PMSet98 のインジケータを表示してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

- PMSet98 の起動中は、「Alt」キーを押しながら「F4」キーを押しても「Windows の終了」ウィンドウが表示されない場合があります。この場合は、タスクバーの何も無いところをクリックしたあと、再度操作するか、「スタート」ボタンから「Windows の終了」を選択してください。

B54.ゲームをお使いになる場合

GAMEPACK2001、SANRIO TINY PARK などのゲームをお使いの最中は、次のことを行わないでください。

- 省電力機能を働かせる
- 画面の解像度、色数を変更する

ゲーム中に上記のことを行うと、エラーメッセージが表示されたり、ゲームが正しく動かなくなったりする場合があります。この場合は、起動中のアプリケーションをすべて終了させてから、Windows98 を再起動してください。また、「スタート」ボタンから Windows98 を再起動できない場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を強制的に再起動してください。

なお、お使いの機種により添付されているゲームは異なります。詳しくは、添付のマニュアル『FMV 総合案内』の「アプリケーション一覧」をご覧ください。

B55.文字が正しく表示されない場合

画面上に意味不明の文字が表示されたり、文字が横向きに表示されるような場合は、「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B56.ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B57.フォントがインストールできない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B58.ネットワークプロトコルが追加できない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B59.「FM 一発修正」について

次のような問題に対して、「FM 一発修正」を実行すると解決できる場合があります。

- 画面上に意味不明の文字が表示されたり、文字が横向きに表示されるような場合
- ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合
- フォントがインストールできない場合
- ネットワークプロトコルが追加できない場合

「FM 一発修正」の実行方法は次のとおりです。

1. 全てのアプリケーションを終了します。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し「OK」をクリックします。

C:¥FJUTY¥FMCURE¥FMCURE.EXE

4. 「OK」をクリックします。
5. 「はい」をクリックします。
Safe モードで Windows98 が起動します。
6. 「OK」をクリックします。
「FM 一発修正」の処理が終了した旨のメッセージが表示されます。
7. 「OK」をクリックします。

本パソコンの電源が切れます。これで「FM 一発修正」の実行は終了です。

「FM 一発修正」は必ず“C:¥FJUTY¥FMCURE¥FMCURE.EXE”から実行してください。「アプリケーション CD」から起動すると、正常に動作いたしません。

B60.筆ぐるめについて

筆ぐるめを再度インストールすると「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で表示される一部の半角文字が読みにくくなる場合があります。この場合は、「C:¥Windows¥Fonts¥Bgnpenkb.ttf」ファイルを「C:¥Program files¥Fgw¥」フォルダに移動してください。

B61.筆ぐるめの住所録データを FM 手帳に読み込むときの注意

筆ぐるめで作成した住所録データを、FM 手帳の住所録に読み込む場合、双方が管理するデータ項目の単位が異なるため、次の点にご注意ください。

- 筆ぐるめの住所録データを CSV 形式で保存してください。保存する手順については、筆ぐるめのマニュアルをご覧ください。
- FM 手帳で CSV 形式のデータの読み込みを行う際は、CSV ファイルの読み込みウィザードの指定項目で、次の点にご注意ください。
 - 「種類と CSV ファイル名の設定」ウィンドウ
 - 「読み込む CSV ファイルの種類」には「筆ぐるめ→住所録」を選択してください。
 - 「項目の関連付け」ウィンドウ
 - 「CSV ファイルの先頭行を項目名とする」のチェックマークをつけてください。
 - 「本体の項目」と「CSVファイルの項目」の関連付けを変更する必要はありません。
- 読み込みが完了したデータは、FM 手帳の「住所録データの編集」機能で、次のように編集してからお使いください。
 - 筆ぐるめの「氏名」、「氏名読み」に姓名を空白文字で区切らずに入力していた場合、「個人情報」タブにある「姓」、「フリガナ姓」に入っていますので、それぞれ姓名を分けてください。
 - 「名前」をリストから選択してください。
 - 筆ぐるめの「自宅住所」は、空白文字を手掛かりに、「自宅」タブの「都道府県」、「市区郡庁」などに分かれて入っていますので使いやすいように分け直してください。
また、同様に「会社住所」は、「勤務先」タブに入っていますので分け直してください。

B62.タッチおじさんメールについて

- タッチおじさんメールをお使いのときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウで「キャンセル」をクリックすると、メールまたはダイヤルアップネットワークの設定が違う旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、タッチおじさんメールを一度終了し、起動し直してください。
- タッチおじさんメールは、プロバイダによっては受信したメールの文字が正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。なお、@nifty では問題なく動作します。

B63.サンリオアクセサリーについて

- スタートメニューの「アナログ時計」の作業用フォルダは、ご購入時は次のように設定されています。
” C:\Program Files\SANRIO\AC\アナログ時計”（「アナログ」は半角カタカナです。）
なお、サンリオアクセサリーのみアンインストールし、再度インストールした場合、インストール直後は上記のように設定されません。ご購入時の状態に戻す場合は、再インストール後に次の手順で設定し直してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」の順にマウスポインタを合わせて右クリックします。
 2. 表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
 3. 「アナログ時計のプロパティ」ウィンドウの「作業用フォルダ」の欄に前述のパス名を入力し、「OK」をクリックします。
- 「デスクトップマスコット」を起動しているときは、デスクトップ上での範囲選択（アイコンを複数選択するときなどに利用）を正しく行うことができず、範囲を示す点線が画面に残る場合があります。
デスクトップ上で範囲選択を行う場合は、「デスクトップマスコット」を終了してください。また、点線が残った場合は、デスクトップの何も無いところにマウスポインタを合わせて右クリックし、表示されたメニューの「最新の情報に更新」をクリックすると、点線が消えます。
- 「アナログ時計」を右クリックすると表示されるメニューから「この位置に固定」をクリックし、「この位置に固定」にチェックマークをつけた場合（時計の位置を固定した場合）、「アナログ時計」をクリックすると、「アナログ時計」が画面左上に移動し、画面からはみ出して表示されます。この場合は、「この位置で固定」を再度クリックしてチェックマークを外したあと（位置の固定を解除したあと）、「アナログ時計」をドラッグして位置を調整し直してください。

B64.VirusScan について

- VirusScan でアップデート中に処理を中断しないでください。中断した場合は電話回線が接続された状態のままになってしまう場合があります。この場合はタスクバーのアイコンから回線を切断してください。詳しくは添付マニュアル『使いこなす本インターネット編』の「インターネットの終わり方」を参照してください。
- VirusScan を再度インストールすると、Windows98 の起動と同時にアップデートを促す画面と Scan32 が起動する場合があります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

B65.ポケベルコール機能について

10 円メールマスターやポケベルダイヤラのポケベルコール機能をお使いになり、エラーが表示されたり、相手に送信できない場合は、次の原因が考えられます。

- 送信相手が受信エリア外にいる
- 送信相手のポケットベルの電源が入っていない

B66.携帯電話を使って通信する場合

所在地情報を複数登録している環境で、10 円メールのように所在地情報の指定ができないアプリケーションをお使いの場合は、あらかじめ次の手順で設定を行ってください。

1. 「コントロールパネル」の「モデム」をクリックします。
2. 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
3. 「登録名」で携帯電話用に作った登録名を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

B67.マイクとスピーカーを使った通話機能について

電話機能の留守番電話などの通信アプリケーションで、マイクとスピーカーを使った通話機能をお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- 雑音の多い環境での使用は避けてください。マイクに雑音が入ってしまい、十分な通話レベルが確保できない場合があります。
- マイクとスピーカーを使って通常の通話をする場合、マイクに近づきすぎたり、過大な音声で話をする、相手に聞こえる音声途切れ途切れになることがあります。マイクから約 30cm 程離れて対話してください。また、話し始めの音声は相手に聞こえにくいことがあります。
- BIBLO に内蔵されているスピーカーおよびマイクを同時に使用すると、音量によってはハウリングを起こす場合があります。また、内蔵のスピーカーとマイクでは十分な通話レベルを確保できない場合があります。この場合は、市販のヘッドホン／マイクをお使いください。

B68. ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ

FAX自動受信などを行う場合は、お使いの通信アプリケーションの応答するまでのコールの回数を3回以上に設定してください。

B69. FAX 留守番電話について

- FAXの受信がうまくいかない場合は、次の手順で設定を変更してください。
 1. 「留守番電話」の「機能」をクリックし、「設定」をクリックします。
 2. 表示されたウィンドウの「留守番設定」タブをクリックします。
 3. 「着信モード」が「FAXのみ」に設定されているか確認します。「FAXのみ」以外に設定されている場合は、「FAXのみ」に設定します。
 4. 「着信までの呼び出し回数」を「4回」以下に設定し、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。
- 本モデムでFAX留守番電話を使ってFAX受信を行う場合、相手のFAX装置によっては正常に受信できない場合があります。そのような場合は、次の方法で対処願います。
 - 短い応答メッセージを作る(10秒以下)
- 通話再生の音量を調節する場合は、ボリュームコントロールの再生側のWaveボリュームを操作することにより、音量の調整が可能になります。
- FAX留守番電話の応答メッセージに使用する音声ファイルは8KHz、16ビット、モノラルに対応したファイルをお使いください。
- FAX留守番電話の「電話/FAX」のモードで留守番待機中にFAX受信すると、録音メッセージにFAXの発信音が録音されることがあります。
- 「通話再生」「通話録音」機能について
 - 「通話再生」、「通話録音」機能はお使いになれません。
- 留守状態になっているときに省電力機能が働いた場合は、省電力機能から復帰したあと、留守番電話をいったん終わらせ、起動し直してください。そのままお使いになると、電話がかかっても留守番電話が反応しない場合があります。
- **スピーカーフォン機能で通話中のFAX受信について**
スピーカーフォン機能で通話中にFAX受信する場合、自動的にFAX受信に切り替わらない場合があります。あらかじめご了承ください。
- FAX留守番電話は、PDCコネクタに携帯電話を接続して通信する場合にはお使いになれません。
- FAX留守番電話の「機能」ボタンから「電話帳」をクリックすると、「レイアウトが見つかりません」というエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は以下の手順でFM手帳の初期化ファイルを編集してください。
 1. 「アプリケーションCD1」の「Pim」フォルダにある「PimDataFolder.exe」を実行します。
 2. ダイアログが表示されるので、アプリケーションデータフォルダの「フォルダを開く」ボタンをクリックします。
※通常は、C:\Windows\Application Data\Fujitsu\Fjpim ですが、OSの環境により異なる場合があるため、上記ツールの使用を推奨します。
 3. フォルダ内の「Fjpim.ini」をクリックします。
 4. 次の個所を編集します。

```
[Setting]
BasicLayout=8
↓
[Setting]
BasicLayout=9
```
 5. ファイルを保存します。

B70. FAX 留守番電話や FAX を使って自動受信を行う場合

留守番電話やFAX自動受信のアプリケーションをお使いになる場合、省電力機能が働くとアプリケーションが機能しないため動作しません。この場合は、次の手順で、電話が着信したら省電力機能が解除されるように設定してください。

1. タスクバーのPMSet98をクリックします。
2. 「その他」タブの「電話が鳴ったら、パソコンを元の状態に戻す」をクリックしてチェックマークをつけ、

- 「OK」をクリックします。
3. 「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。

本パソコンをバッテリーでお使いの場合、上記の設定を行うと、省電力機能が働いているときの消費電力が増加するため省電力機能の保持時間が短くなります。この場合は、AC アダプタをお使いください。

B71.メモリアイタルリンクについて

メモリアイタルリンクでデータを編集中に Windows98 を終了させると、編集中のデータが保存されません。必ずデータを保存してから Windows98 を終了させるようにしてください。

B72.メモリアイタルリンクに携帯電話のデータをダウンロードした場合

メモリアイタルリンクのデータを FM 手帳に反映させた場合、PHS のデータは「携帯/PHS2」に保存されます。ご購入の状態では FM 手帳は「携帯/PHS2」を表示していません。次の手順で表示を有効にしてください。

1. FM 手帳の「設定」メニューをクリックします。
2. 「運用レベル」から「スーパーユーザー」をクリックします。
3. FM 手帳の「設定」メニューをクリックし、「表示項目の設定」をクリックします。
4. 「表示項目の設定」ウィンドウで「表示可能な項目の種別(T)」に「自宅」を選択し、「表示可能な項目」に「携帯/PHS2」を選択します。
5. 「追加(A)」ボタンをクリックし、「OK」をクリックします。

B73.FAX 留守番電話とメモリアイタルリンクを同時にお使いになる場合

FAX 留守番電話とメモリアイタルリンクは同時にお使いになることはできません。同時に起動してしまった場合、「Fujitsu SOFT PDC モデムがインストールされていません。」または、「TAPI の資源に問題があるかもしれません」といったメッセージが表示されます。この場合は両方のアプリケーションを終了し、再度、お使いになりたいアプリケーションだけを起動してください。

B74.インターネット(@nifty)無料体験について

インターネットへ接続するための設定を済ませたあと、「インターネット(@nifty)無料体験」をお使いになると、Internet Explorerなどを起動したときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されず、インターネットへ接続できなくなる場合があります。この場合は、次の手順に従って、インターネットの設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「インターネットオプション」をクリックし、表示されたウィンドウの「接続」タブをクリックします。
3. 「ダイヤルアップの設定」の「通常の接続でダイヤルする」をクリックし、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。

B75.AOL について

- ニフティマネジャーで、インターネット経由でメールを送信するときに、全角文字を含んだファイル名のファイルをメールに添付した場合、そのメールを AOL で受信すると、まれに添付ファイルを正しく受信できない場合があります。
- チャットロビーに入ろうとすると、「リッチテキストが表示できませんでした。」または「メモリ不足のためこのアプリケーションを実行出来ません。」という旨のメッセージが表示される場合があります。このときに操作を先に進めることができなくなることがありますが、その場合は添付マニュアル「トラブル解決 Q&A」の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- AOL では Hatch inside の短縮記号はお使いになれません。あらかじめご了承ください

B76. FMV オンラインユーザ登録について

- 「FMV オンラインユーザ登録」などを使って、ユーザ登録や加入手続きを本パソコンからオンラインで行うときは、通信中に処理を中断したり、電話回線を切断したりしないでください。登録に失敗したり、タイミングによっては、中断したはずの手続きが成立してしまったりする場合があります。
- 「FMV オンラインユーザ登録」を再度インストールする場合は、「アプリケーション CD1」の「Update」フォルダからインストールしてください。「アプリケーション CD1」の「Fmsignup」フォルダからはインストールしないでください。

B77.複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合

一部のアプリケーションは、複数のユーザが使用する設定（「コントロールパネル」の「ユーザー」で複数ユーザの個人用設定を行った場合など）には対応していません。あらかじめご了承ください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち一部のアプリケーションでは、複数のユーザが使用する設定のとき、次のようになることが確認されています。

- アンインストールしても「スタートアップ」フォルダからショートカットが消えない場合がある
- アンインストール後、再度インストールしても、アプリケーションが正しく起動しない場合がある
- アプリケーションにあらかじめ登録されたデータなどを複数のユーザで共有できない場合がある

B78.デバイスの削除／ドライバの更新について

「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」において、「デバイスの削除」または「ドライバの更新」を行うと、次のような現象が起きる場合があります。

- ファイルのコピー終了後、インストール完了の表示までに非常に時間がかかる
- インストール終了後、再起動の開始に非常に時間がかかる

いずれの場合も問題はありません。処理が完了するまでお待ちください。

B79.USB キーボードをお使いの方へ

- 「コントロールパネル」の「ユーザー補助」内の「フィルタキー機能」の「設定」にて「ショートカットキーを使う」を有効とし、「右 Shift」キーを 8 秒以上押し続けてもショートカットが効きません。コントロールパネルから「フィルタキー機能」の設定メニューを開くようにしてください。
- MS-DOS モードでお使いのときに、USB キーボードから一度に大量の文字を入力すると、まれにシステムが停止する場合があります。

B80.ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意

ACPI の設定でネットワーク上のファイルを編集しているときは、省電力機能を働かせないでください。省電力状態になると、編集中のファイルが正しく保存できない場合があります。

B81.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合

ご購入時はドライバが組み込まれていないため、MS-DOS モードで CD-ROM がお使いになれません。

Windows98 を起動した状態にして、次の手順でドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
2. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。

```
c:¥config.sys
```

3. 「開く」をクリックします。
4. 次の行の「REM」を削除します。

```
REM DEVICE=C:¥REALMODE¥OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001
```

↓

```
DEVICE=C:¥REALMODE¥OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001
```

5. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。

6. 「はい」をクリックします。

7. 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。

```
c:¥windows¥dosstart.bat
```

8. 次の行の「REM」を削除します。

```
REM MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /I:× (×は機種によって異なります)
```

↓

```
MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /I:×
```

9. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。

10. 「はい」をクリックします。

11. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
12. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
Windows98 が再起動され、設定が有効になります。
13. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
14. 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
MS-DOS モードで CD-ROM が使用可能になります。

B82.ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバをお使いになる場合

添付の「アプリケーション CD2」には、ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバ (MS-DOS モードで利用可能なドライバ) が用意されています。この専用ドライバをお使いになる場合は、Windows98 を起動した状態にして、次の手順に従ってドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「CD-ROM」の左側の「+」をクリックし、「CD-ROM」の下に表示された名称を確認します。
4. 確認ができたなら、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーション CD2」を CD ドライブにセットします。
6. MS-DOS プロンプトなどを使って、「アプリケーション CD2」内の次のファイルを、「C:\REALMODE\」フォルダにコピーします。手順 3. で確認した名称に従って、それぞれ次のファイルをコピーしてください。
 - 「SONY CD-RW CRX100E」の場合
E:\Cdsosony\So_atapi.sys
 - 「NEC CD-ROM DRIVE:282」の場合
E:\Cdnec\NE_ATAPI.SYS
 - 「TOSHIBA CD-ROM XM-6602B」または「TOSHIBA CD-ROM XM-7002B」の場合
E:\Cdtshiba\TO_ATAPI.SYS
 - 「MATSHITA CR-1750」の場合
E:\Cdmatsu\SR_ASPI.SYS
E:\Cdmatsu\ATAPIMGR.SYS
※上記の 2 つのファイルをコピーします。
 - 「CD-224E」の場合
E:\Cdteac\TE_ATAPI.SYS
 - 「UJDA170」または「UJDA130」または「UJDA310」の場合
E:\Cdkme\KMEATAPI.SYS

「E:」は、お客様がお使いの CD ドライブのドライブ名となります。
7. コピーが終わったら、「アプリケーション CD2」を CD ドライブから取り出します。
8. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
9. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。
c:\autoexec.bat
10. 「開く」をクリックします。
11. 表示された内容の末尾に次の行を追加します。
C:\DOS\MSCDEX.EXE /D:MSCD001
12. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
13. 「はい」をクリックします。
14. 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。
c:\config.sys
15. 先頭に LASTDRIVE の指定を一行加えます。すでに LASTDRIVE の指定がされている場合は、それを変更してください。指定する値はシステムで使用するドライブの数に対応する文字か、それ以上の文字を指定してください。例: LASTDRIVE=Z

16. 表示された内容の末尾に次の行を追加します。手順 **3.**で確認した名称に従って、それぞれ次のように追加してください。

- CD-ROMドライブが CRX100E(SONY)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥SO_ATAPI.SYS /D:MSCD001
- CD-ROMドライブが DRIVE:282(NEC-HE)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥NE_ATAPI.SYS /D:MSCD001 /SM PIO=4
- CD-ROMドライブが XM-6602B, XM-7002B(東芝)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥TO_ATAPI.SYS /D:MSCD001
- CD-ROMドライブが CR-1750(松下寿)の場合
- CD-ROMドライブが CD-224E (TEAC)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥TE_ATAPI.SYS /D:MSCD001
または同じポートに他の HDD 等の IDE デバイスを接続している場合、
以下の/Nを追加してください
DEVICE=C:¥DOS¥TE_ATAPI.SYS /D:MSCD001 /N
- CD-ROMドライブが UJDA170, UJDA130(九州松下)の場合
- CD-R/RWドライブが UJDA310(九州松下)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥KMEATAPI.SYS /D:MSCD001 /P:S /O:M
(MF3/500X, MF3/45 の場合は /P:P /O:S)
また Windows のディレクトリの中にある、SYSTEM.INI の「386Enh」セクションには
VirtualHDIRQ=OFF の指定を加えてください。すでに VirtualHDIRQ の指定がある場合は
OFF の指定に変更してください。
(例: VirtualHDIRQ=OFF)

「B81.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 **4.**に従って「REM」を削除している場合は、その行を元の状態に戻してください。

17. このあとは、「B81.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 **5.**以降に従って操作を続けます。

すべての操作が終わると、MS-DOS モードで専用ドライバが使える状態になります。

B83.ノイズについて

本パソコンの起動時、終了時、およびサスペンド/レジューム時において、音(ノイズ)がわずかに聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

B84.ゼンリン電子地図帳 ZII をインストールする場合

ゼンリン電子地図帳 ZII のインストールで「情報確認」画面で「次へ」をクリックした後、「電子地図帳 ZII オンラインユーザ登録インストール」ウィンドウが後ろに隠れてしまう場合があります。この場合は「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押して、「電子地図帳 ZII オンラインユーザ登録インストール」ウィンドウを前面に表示させてください。

B85.ゼンリン電子地図帳 ZII について

- 「編集」メニューから描いた鎖線の図形は、正しく印刷されない場合があります。あらかじめご了承ください。
- サポートバーの「施設」タブには、施設名称が一つも登録されていないジャンルがあります。あらかじめご了承ください。
- 3D 表示の状態でゼンリン電子地図帳 ZII を終了すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウのボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、Windows98 を再起動してください。
- **MF3/500X, MF3/45 のみ**
本パソコン以外でゼンリン電子地図帳 ZII の地図データを Virtual CD2 で圧縮して使用した場合は、動作保証外となります。あらかじめご了承ください。

B86. Visual Basic Editor について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で文字が正しく表示されない場合があります。この場合は、次のアドレス(URL)のホームページにある修正プログラムで解消できる場合があります。

<http://officeupdate.microsoft.com/japan/downloaddetails/2000/o9vbeupd.htm>

B87.GAMEPACK2001 について

マルチモニタ機能をお使いの時には GAMEPACK2001はご使用できません。ご了承ください。

B88.Media Player などによる動画および音声再生について

動画ファイルおよび音声ファイルを複数同時に起動すると、正しく再生できない場合があります。この場合は、ファイルを1つだけ起動して、再生することをお勧めします。

B89.Jet-Audio Player について

音楽CDからWaveファイルを作成した場合、カレントとエンコーディングの表示が99%で変換処理が終了してしまう場合があります。Waveファイルは正常に作成されていますので、お使いになるうえで問題ありません。

b7.ドライバのアップデートについて

「アプリケーション CD2」に最新版のドライバが入っています。通常はドライバをアップデートする必要はありませんが、次のような場合にのみ、ドライバをアップデートしてお使いください。アップデートの手順については、「アプリケーション CD2」の「Update」フォルダにある「README.TXT」をご覧ください。

NE3/500LR,NE3/500L,NE3/45LW,NE3/45LR,NE3/45L のみ

- Microsoft® PowerPoint® for Windows® 95 へ BMP ファイルの貼り付けを行った場合、一部の BMP ファイルにおいて、正常に BMP ファイル画像色が表示できない場合
※ ドライバの名称:ATI RAGE MOBILITY AGP Version Church-B183
- 製品にインストールされているディスプレイドライバのバージョン表記は次のように読み替えが可能です。
-Windows 98 または Windows 95 の場合
Version M6.10.74-T02 は Version Church-B156 と同一バージョンです。
-Windows NT の場合
Version M6.10.84-T01 は Version Church-B76 と同一バージョンです。
ドライバのアップデートなど、ドライバのバージョン情報が必要になったときの参考にしてください。

MF3/500X,MF3/45 のみ

- 携帯電話接続において、インターネットなど長時間接続する場合(長時間接続を行うと、まれに切断される場合があります)
- NTTドコモ ドッチーモ PHS を使用する場合(通信の途中で切断される場合があります)
- NTTドコモ ドッチーモ PHS を使用して FAX 通信する場合(FAX 通信の途中で切断される場合があります)
※ アップデートするにあたり、次の操作を行ってください。
 1. 「README.TXT」の「2.3 古いドライバからアップデートする場合」に従い、古いドライバを先に削除します。
 2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
 4. 「モデム」の左側の「+」をクリックします。
 5. (「モデム」の下に表示されている)「Fujitsu Soft USB PHS-DoCoMo32k-Doccimo」をクリックし、「削除」をクリックします。
 6. 「OK」をクリックします。
設定のために開いたウィンドウを閉じてください。
上記の操作を行ったあとは、「README.TXT」の「1.ドライバのインストール」に従って、アップデートしてください。

b8.パーティーグッズ:Facematch について

NE3/500LR,NE3/500L,NE3/45LW,NE3/45LR,NE3/45L のみ

「Best Couple」の画面で表示される4つの画像のうち、いくつか表示が粗いものがあります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

b9.お父さんのための釣りについて

NE3/45LK,NE3/45 のみ

オープニングのタイトル画面が、表示されない場合があります。白い枠だけの画面が表示された場合は、フラットポインタやマウスを左クリックすると、ゲームを続けることができます。

b10.PC Card スロットに ATA FLASH カードを2枚挿入したい場合

MF3/500X,MF3/45 のみ

内蔵PCカードユニットをご購入され、PC CardスロットにATA FLASHカードを2枚挿入したい場合は、次の設定を行ってください。設定をせずにPC CardスロットにATA FLASHカードを2枚挿入した場合は、2枚目のPCカードのドライバは使用できていませんので、いったんATA FLASHカードを取り出して、次の設定を行ってください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「コンピュータ」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。

4. 「リソースの予約」タブをクリックし、「I/O ポート アドレス」をクリックします。
5. 「追加」をクリックします。
6. 「開始の値」に“170”、「終了の値」に“177”と入力し、「OK」をクリックします。
7. 「OK」をクリックします。

これで設定は終了です。設定のために開いたウィンドウを閉じてください。

b11.携帯電話接続用 USB ケーブル/PHS 接続用 USB ケーブルをお使いの方へ

MF3/500X, MF3/45 の「アプリケーション CD2」の「Update」フォルダにあるドライバの「README.TXT」、およびオプション品のドライバ CD の「README.TXT」内に訂正があります。下記のように読み替えてください。

〔動作確認済み携帯電話/PHS 及び最新ドライバについて〕

インターネット富士通パソコン情報ページ“FM WORLD” (<http://www.fmworld.jp>)にてご案内します。

訂正) <http://www.fmworld.ne.jp>

携帯電話接続用 USB ケーブルをお使いの場合(本体添付モデルの添付品もしくはオプション品)

- 本ケーブル用ドライバは COM5 に登録されます。ドライバをインストールする前に、すでに COM5 を使用している場合は、いったん COM5 に割り当てられているモデムを削除してから本ドライバをインストールしてください。削除したモデムは、本モデムをインストール後に、インストールし直してください(この場合、COM5 以外に割り当てられますのでご注意ください)。
- 通信アプリケーションを起動中、ケーブルの抜き差しを行わないでください。ケーブルの抜き差しは、いったん通信アプリケーションを終了させてから行ってください。
- 本対応ドライバ同士による対向通信はできません。
- 通信中は、サスペンドおよび Save To Disk 機能を行うことはできません。
- 本対応ドライバでは、留守番電話はお使いになれません。
- 本対応ドライバでは、FAX 留守番電話はお使いになれません。
- 携帯電話接続時の FAX 通信ソフトは、次のものを推奨します。

※ まいとーく FAX2001 Version4.02

なお、以上は弊社にて確認を行ったものであり、弊社および株式会社インターコムは、動作を保証するものではなく、かつ責任を負いません。ご了承ください。

- NTT DoCoMo ドッチーモをお使いになる場合は、あらかじめ電話機の設定は、ご利用されるモード(携帯電話/PHS)に設定しておいてください。
- NTT DoCoMo ドッチーモで PHS 接続する場合は、FAX 通信はできません。
- 本対応ドライバでは、TAPI 経由での接続のみご利用できます。
- 本対応ドライバでは、NTT DoCoMo 208 シリーズでのパケット接続はご利用できません。
- N302 によるパケット通信中、通信の途中で切断される場合があります。この場合は、再度接続してください。
- レジューム後、まれにケーブルを認識しない場合があります。この場合は、いったんケーブルを抜いて、再度差し直してください。
- Netmeeting を使用した後に、本パソコン (Windows) の動作が遅くなる場合があります。この場合は、本パソコンを再起動してください。
- 電波状況によっては、通信の途中で切断される場合があります。このとき携帯電話機は切断されていても、通信アプリケーションが切断されていない場合があります。この場合は、いったんアプリケーション自体で“切断”を行ってから、再度ダイヤルしてください。
- NTT DoCoMo ドッチーモをお使いになる場合、PDC 設定から PHS 設定(あるいは PHS 設定から PDC 設定)に変更する場合は、いったん電話機からケーブルを抜いて、再度差し直してください。
- 大容量ファイルの送受信や、大容量のメールの送受信を同時に行う場合に、途中でデータの送受信が止まってしまう場合があります。この場合は、再度接続を行い、送受信を別々に行ってください。

PHS 接続用 USB ケーブルをお使いの場合(オプション品)

- 本ケーブル用ドライバは COM6 に登録されます。ドライバをインストールする前に、すでに COM6 を使用している場合は、いったん COM6 に割り当てられているモデムを削除してから本ドライバをインストールしてください。削除したモデムは、本モデムをインストール後に、インストールし直してください(この場合、COM6 以外に割り当てられますのでご注意ください)。
- 通信アプリケーションを起動中、ケーブルの抜き差しを行わないでください。ケーブルの抜き差しは、いったん通信アプリケーションを終了させてから行ってください。
- 本対応ドライバ同士による対向通信はできません。
- 通信中は、サスペンドおよび Save To Disk 機能を行うことはできません。

- PHS を使った FAX 通信はできません。
- パルディオメータはご利用できません。
- レジューム後、まれにケーブルを認識しない場合があります。この場合は、いったんケーブルを抜いて、再度差し直してください。
- 子機間接続はご利用できません。
- 電波状況によっては、通信の途中で切断される場合があります。このとき PHS は切断されていても、通信アプリケーションが切断されていない場合があります。この場合は、いったんアプリケーション自体で“切断”を行ってから、再度ダイヤルしてください。

b12.Easy CD Creator について

NE3/500LR,NE3/45LR のみ

- インストール時の注意

再度インストールをすると、Windows98 の起動と同時に「Adaptec Easy CD Creator の Adaptec Web-Checkup は、インターネットを…」と記述されている画面が表示され、タスクトレイに Adaptec CreateCD が常駐します。ご購入時の設定に戻したい場合は、タスクトレイの Adaptec CreateCD を右クリックし「CreateCD を無効にする」を実行してください。
- データ転送速度の遅いソースから、CD-R および CD-RW に書き込みを行なう場合には、テスト書き込みを行なってください。
- 再度インストールをすると、Windows のヘルプ(「スタート」ボタンをクリックし、「ヘルプ」をクリックすると起動します)のタブ名と ツールバーのボタン名が英語になってしまいます。再度インストールをする場合は 事前に次の手順に従ってください。
 1. C:\Windows\System にある HHCTRL.OCX ファイルを別のフォルダ(例:My Docyument など)へコピーします。
 2. EasyCD Creator Ver.4.01 の再インストールを行います。
 3. 手順 1 でコピーした HHCTRL.OCX を、コピー先から元の C:\Windows\System へ上書きコピーします。
- CD Copier にて CD 情報を参照するとシステムに不具合が発生する場合があります。CD 情報を参照する場合は次の手順で参照してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「Adaptec EasyCD Creator」「Feature」の順にマウスポインタを合わせ、「EasyCD Creator」をクリックします。
 2. 情報を参照したい CD を CD-RW ドライブにセットし EasyCD Creator の画面のツールバーにある「CD」をクリックします。
 3. 「CD 情報」をクリックすると CD 情報が表示されます。
- 複数の音楽ディスクから曲をコピーして新しい音楽 CD を作成すると、Windows の CD プレーヤーでコピーした曲の一部が再生できない場合があります(これはコピーを行ったパソコンで再生する場合でのみ発生し、他のパソコン、CD プレーヤーでは発生しません)。この場合は、複数の音楽ディスクから曲をコピーして新しい CD を作成した後で、次の操作を行ってください。
 1. 「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」を起動し、C:\Windows\CDPLAYER.INI ファイルをクリックして開きます。
 2. CDPLAYER.INI ファイルの末尾に括弧記号[]で表示されている部分が、最後に作成した音楽 CD の情報です。その中に n="" の形式で、音楽トラック情報が記録されている部分があります。この部分で、最後の書き込みした音楽トラック以前の音楽トラック情報が、欠けてしまっている場合がありますので追加してください。

曲数が n だった場合の具体的な編集例を以下に示します。

[CD の ID 番号]

artist=任意のアーティスト名

title=任意のタイトル名

numtracks=n

←音楽 CD に記録したトラック数の合計を記入します。

0=トラック 1

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

1=トラック 2

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

・

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

・

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

m-1=トラック 4

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

m=トラック 5

←最後の書き込みで記録した音楽トラックが表示されていますので、そのま

- ま残します。
 - ・ ←欠けていないものはそのまま残します
 - ・ ←欠けていないものはそのまま残します
 - n=トラック 8 ←欠けていないものはそのまま残します
- 以上で編集は終わりです。

b13.NE3/45LK,NE3/45 のボリュームについて

- ボリュームの設定について
 - ソフトウェアボリュームは、「↑」、「↓」キーにより微調整が可能です。
 - 録音の音量コントロールは標準では一番下になっています。音が小さいと感じられる場合は、音量つまみを上へドラッグして調節してください。

b14.デバイスの使用について

NE3/45LK,NE3/45 のみ

ALi Audio Accelerator WDM driver を使用不可にすると、「システム設定の変更」において次のメッセージが表示されます。

「ハードウェアの設定が変更されました。コンピュータを再起動すると、この設定が有効になります。今すぐ再起動しますか？」

このようなメッセージが表示された場合は「いいえ」をクリックし、いったん再起動を取りやめた後、「スタート」ボタンの「Windows の終了」より再起動を行ってください。また、上記デバイスを使用可能に設定した後も、「スタート」ボタンの「Windows の終了」より再起動を行ってください。

b15.メモリカードをお使いの場合

NE3/43E のみ

SanDisk などのメモリカードをプラグ&プレイでセットすると、音量の設定が変更されてしまう場合があります。メモリカードをお使いになるときは、パソコン本体の電源を入れる前にメモリカードをセットしてください。音量の設定が変更されてしまったときは、パソコン本体を再起動すると、元の設定に戻ります。

b16.ナンバーディスプレイ回線で FAX をお使いの場合

NE3/43E のみ

パソコン本体（NE3/43E）にインストールされているアプリケーション「FAX 留守番電話」をお使いになるときは、着信までの呼び出し回数を 5 回以上に設定してください。ご購入時の設定（2 回）のままでは、着信できません。また、お使いの FAX によっては、正常に着信できない場合があります。

b17.スピーカーホン機能をお使いの場合

NE3/43E のみ

スピーカーからの音声小さいときは、「マスタ音量」ウィンドウの「電話線」の設定で音量を調節してください。「電話線」の設定を変更して発信音が大きくなってしまったときは、「Wave」で音量を調節してください。

b18.モデムをお使いの場合

NE3/43E のみ

ご購入時は、内蔵モデムの国の設定がアメリカ合衆国です。内蔵モデムで通信を行う前に、以下の手順にしたがって設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「種類別に表示」の一覧で「モデム」の「+」をクリックします。
4. 一覧に表示された「Conexant SoftK56 Speakerphone PCI Modem」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
5. 「国選択」タブをクリックします。
6. 「国の選択」の一覧で「日本」を選択し、「適用」をクリックします。

7. 「OK」をクリックします。
8. 「システムのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウに戻ります。これで設定は終了です。

b19.電源が切れない場合

NE3/43E のみ

本パソコンの電源が切れないときは、添付されているマニュアル『使いこなす本 ハード編』の「電源を入れる／電源を切る」のアドバイス「今日はおしまい。電源を切るには？」(→P.43)の手順で電源が切れないときをご覧になり、電源を切ってください。

それでも本パソコンの電源が切れないときは、以下の方法で電源を切ってください。

1. AC アダプタを接続している場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
2. その後、『使いこなす本 ハード編』の「内蔵バッテリーパックを交換する」(→P.51)をご覧になり、内蔵バッテリーパックを取り外して電源を切ってください。
内蔵バッテリーパックを取り外す際は、内蔵バッテリーパックのコネクタ部分に触れないように注意してください。

b20.内蔵 DVD-ROM ドライブユニットをお使いの方へ

MF3/500X,MF3/45 のみ

「EasyCD Creator」をインストールしたあとに、内蔵 DVD-ROM ドライブユニットに添付の「DVD Player」をインストールしようとする、インストール途中でエラーとなる場合があります。この場合は、次の手順を行ってください。両方のアプリケーションをインストールするには、DVD Player を先にインストールするとエラーを回避できます。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システム ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「システム情報」をクリックします。
2. 「システム情報」ウィンドウの「ツール」をクリックし、「システム ファイル チェッカー」をクリックします。「システム ファイル チェッカー」が起動します。
3. 「インストールディスク からファイルを 1 つ抽出する」を選択します。
4. 入力行に、「msvcrt.dll」と入力します。
5. 「開始」をクリックします。
6. 「復元元」に次のように入力します。
c:\windows\options\cabs
7. 「ファイルの保存先」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
c:\windows\system
8. 「OK」をクリックします。
この後、「バックアップフォルダがありません。作成しますか?」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
9. メッセージに従って、本パソコンを再起動します。
上記の操作のあとに、DVD Player をインストールします。

b21.ワイヤレス通信セットをお使いの方へ

NE3/45LW 標準添付品およびオプション品をお使いの方へ

- ワイヤレス通信セットと携帯電話接続ケーブル(FMV-NCBL92)は同時に使用できません。ワイヤレス通信セットをお使いの場合は、次の手順で「Fujitsu SOFT PDC」を“使用不可”にしてください。

1. ワイヤレス通信カードがパソコン本体にセットされていない状態で、Windows を起動します。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
4. 「モデム」の左側の「+」をクリックします。
5. (「モデム」の下に表示されている)「Fujitsu SOFT PDC」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
6. 「全般」タブにある「デバイスの使用」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
7. 「OK」または「閉じる」をクリックします。

なお、この後、携帯電話接続ケーブルをお使いになりたい場合は、手順 6 の「このハードウェアプロファイルで

使用不可にする」のチェックマークを外してください。

- ワイヤレス通信セットでは、FAX 留守番電話はお使いになれません。
- ワイヤレス通信カードの背面コネクタはお使いになれません。
- ワイヤレス通信カードの使用時は、省電力機能は使用できません(サスペンド、Saveto disk 等)。
- ワイヤレス通信セットでは、「AOL5.0 で簡単インターネット」はお使いになれません。
- ワイヤレス通信セットでの FAX 通信ソフトは次のものを推奨します。

※ まいとーく FAX 2001 Version4.02 (株式会社 インターコム製) 受信機能のみ

なお以上は弊社にて確認を行ったものであり、弊社および株式会社インターコムは、動作を保証するものではなく、かつ責任を負いません。ご了承願います。

- 電気製品、AV 製品、OA 機器、デジタルコードレス電話から、2m 以上離して、設置ならびに使用してください。
- 電子レンジに対しては 3m 以上離して、設置ならびに使用してください。
- ワイヤレス通信カードとワイヤレスステーション間の通信距離は、見通し100mとなります。壁の有無など使用条件により通信距離は変わります。
- ワイヤレス通信セットのドライバなどをインストールしている途中で、パソコン本体を再起動させることがあります。その際、時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。処理が終わるまでお待ちください。

b22.ワイヤレス通信セット用ドライバのインストールについて

NE3/45LW のみ

NE3/45LW をリカバリすると、そのままではワイヤレス通信セット用ドライバがインストールされません。ワイヤレス通信セットに添付されている取扱説明書の P.16「必要なソフトウェアをインストールする」に従って、ドライバのインストールが必要です。インストールする前に、次の手順を必ず行ってください。

1. ワイヤレス通信カードがパソコン本体にセットされていない状態で、Windows を起動します。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
4. 「モデム」の左側の「+」をクリックします。
5. («モデム」の下に表示されている)「Fujitsu SOFT PDC」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
6. 「全般」タブにある「デバイスの使用」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
7. 「OK」または「閉じる」をクリックします。

Microsoft および Windows、WindowsNT、MS、MS-DOS、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Lotus は、Lotus Development Corporation の登録商標です。

1-2-3、Notes は、Lotus Development Corporation の商標です。

一太郎、ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標、または商標です。

K56flex は、Lucent Technologies 社、Conexant Systems Inc.の商標です。

その他の各製品は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright®富士通株式会社 2000

画面情報の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

お使いになるうえでの注意事項

B3FH-A589-02-00

発行日 2000年2月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

-
- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
 - 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。